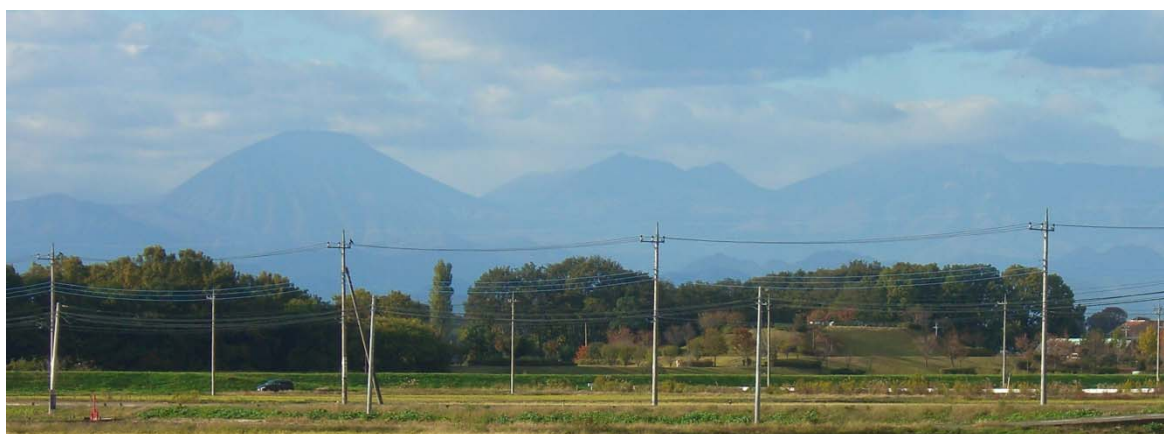


## 室員紹介 ～平成24年度第5回 園部主査～

総合政策局 総務課（併）政策統括官付 主査 園部 一男

生まれ：栃木県芳賀郡市貝町

趣味：燻製作り、ナンプレ（パズル）



----- 日光連山の眺望（栃木県下野市付近） -----

はじめまして。11/1より、「ICTを活用した歩行者の移動支援」を担当することになりました園部と申します。

10月まで地方共同法人日本下水道事業団（以下「事業団」）に出向しており、下水処理施設の工事監理等を行っていたところから一気に環境が変わり、戸惑いながら業務を行っている側面も多々ありますが、今後ともよろしく申し上げます。

事業団に出向する前は、関東地方整備局企画部に在籍しており、防災、イノベーション、新技術、無線申請等々の業務を担当しておりました。ICT（情報通信技術）に関する技術調査等も業務の中に含まれており、ICTとは切っても切れない縁があるのかなと思います。

### I(愛)CTは地球を救うか？

----- 今から10年以上前、夢ではなく近未来予測として考えていた世界

それは、世界のあちこちに情報通信技術がいきわたり、“いつでも”、“どこでも”、“だれとでも”コミュニケーションが取れたり、そのときに必要な情報にアクセスできたりする世界。まさに、ICTが網羅するバラ色の未来を予測していました。

### 本当にそうか？

皆さんの実感はいかがでしょうか？十人十色ではあるでしょうが、それほど便利な世の中になっていないというのが実感でないでしょうか？便利になったのは、スイカ、パスモ等（鉄道、

バス等)と ETC (高速道路) と スマホ (スマートフォン、タブレット端末等) 位だ、と思っている人は多くあるかと思います。確かに、過去に予測していたいわゆる『ユビキタス (“いつでも”、“どこでも”、“だれとでも”コミュニケーションが自在に取れる) 社会』までは行き着いていませんが、多少便利になった実感もあるのではないのでしょうか。

そこで、先ほどのアンダーライン箇所をもう一度見てほしいのですが、全てに共通するものは何でしょうか？

----- 答えは「交通」です。(多少こじつけのところはありますが。。)

スマホは、ポータブル (携帯) でいつでも、どこでも使用可能ということから、「交通」の範疇に入れていきます。(汗) 誰もが直面する問題だけに、交通に関連のある技術は、どんどん進歩していくのかなと思います。

そのような中で今般、「ICT を活用した歩行者の移動支援」を担当することになり、わくわくしているところです。

ところで、私の生家の方では、ほぼ毎週末に SL (真岡鐵道：下館～茂木間) が走ります。テレビのロケ等でもよく使われている車輛なので、鉄道ファン (撮り鉄、乗り鉄) のみならず、興味のある方はどうぞお越しください。また、隣町にはサーキット場 (ツインリンクもてぎ←花火 (地割れスターマインなど) でも有名) があります。

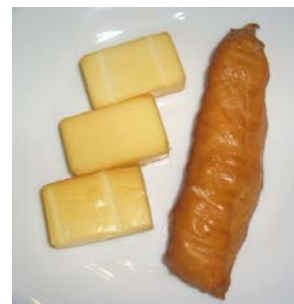


--- 真岡鐵道 SL (道の駅「もてぎ」付近) ---

最近ハマっているのが燻製作 (スモーク) です。ちょっとした手間をかけることで食材の味が引き立つので毎週のように作っています。



--- 燻製作成中---



--- 出来上がり! (チーズとササミ) ---